

管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会の調査結果	事業社名	機種・型式	備考
					物的被害	人的被害					
B1K0900069	2009/11/09	2010/11/5	石油ふろバーナー	火災が発生し、当該製品を焼損した。	器具と周辺0.8㎡焼損	なし	長崎県	調査の結果、 ○当該製品のバーナーノズル(バーナーのガス噴出口)は正常であり、燃焼不良等の異常痕跡はなかったこと、 ○灰出し口蓋がない状態で使用していたこと、 ○事故当日は、当該製品周辺でわら作業を行っていたため、わらが近傍に散在していたことから、 ●ふろがま周辺にわらが散在した状態で当該製品が点火されたため、灰出し口付近のわらが発火して、火災に至ったものと推定。	長府工業(株)	K-1	製造から20年以上経過した製品 METI公表の表記は「F-1」
B1K0900068	2009/05/06	2010/11/5	石油ふろがま(薪兼用)	バーナーで風呂を焚いて、保温用に釜へ紙類を投入した。翌早朝、火が出ていることに気付いて消火した。個人情報関係でこれ以上の情報が得られなかった。	機器被害なし。家屋部分焼。	なし	三重県	調査の結果、 ○当該製品の外観、バーナ部に火の痕跡はなかったこと、 ○ゴム製配管からの灯油漏れは認められなかったこと、 ○紙類を投入しているが、焚き口が閉まっており、紙類からの延焼も認められなかったこと、 ●当該製品からの出火ではないものと推定。	(株)長府製作所	H2S-2	
B1K0900067	2009/04/28	2010/11/5	石油ファンヒーター	当該製品を使用していたところ、本体背面付近から炎が上がった。	家屋一部焼損	なし	新潟県	調査の結果、 ○当該製品の電気系統には出火の痕跡がなく、送油管経路にも灯油漏れなどの異常が認められなかったことから、 ●当該製品からの出火ではなく外部からの延焼により焼損したものと推定。	ダイニチ工業(株)	KDF-3280	
B1K0900066	2009/04/01	2010/11/5	石油ふろがま(薪兼用)	浴槽に水が溜まる前にバーナーの運転を始めた。その後暫くして焦げ臭い匂いがした。本体が木製の壁に密着して設置されたことで、壁が長期に亘り過熱され炭化が進み、低温発火に至ったものではないかと推測される。	機器焼損、壁の一部が損傷。	なし	埼玉県	調査の結果、 ○空の浴槽に水を入れながらバーナーを運転させたこと、 ○バーナーの燃焼状態は正常であったこと、 ○バーナー口蓋と壁との間に落ち葉が多量に堆積していたことから ●空だき状態となって当該製品のバーナー口蓋付近に堆積した落ち葉が過熱されて引火し、火災に至ったものと推定。なお、当該製品は、家屋との隙間がほとんど無い状態で設置されており、落ち葉が溜まりやすい状態であった。	(株)長府製作所	CHS	製造から10年以上経過した製品
B1K0900065	2009/03/21	2010/11/5	石油ファンヒーター	火災が発生し、事故現場に当該製品と破裂したスプレー缶が数本散乱していた。	家屋全焼	なし	富山県	調査の結果、 ○当該製品に油漏れ、異常燃焼、電気部品からの発火痕跡及び爆発による変形は認められなかったこと、 ○温風吹き出し口の前に4本の破裂したスプレー缶があったこと、 ○室内のあちこちが燃えていたこと、 ●当該製品によりスプレー缶が加熱されスプレー内圧が上昇して爆発し、室内周辺に引火して火災に至ったものと推定。	ダイニチ工業(株)	FW-321S	経済産業省データは「石油温風暖房機(開放式)」と記載
B1K0900064	2009/03/04	2010/11/5	石油ストーブ(開放式)	住宅が全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。 当該製品の置台上に多量にあった紙や砂等が空気取り入れ口を閉塞していたことから、給気不足となって異常燃焼が生じ、火災に至ったものと推定。	家屋全焼	なし	千葉県	調査の結果、 ○当該製品の置台上に多量にあった紙や砂等が空気取り入れ口を閉塞していたことから ●給気不足となって異常燃焼が生じ、火災に至ったものと推定。	シャープ(株)	HSR-240L	

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会の調査結果	事業社名	機種・型式	備考
					物的被害	人的被害					
B1K0900063	2009/01/24	2010/11/5	石油ストーブ (FF式)	火災が発生し、当該製品及びその周辺が焼損した。事故の2週間前に使用者が自ら分解して不完全な修理をおこなっていたこと、から、異常燃焼が常態的に生じ、木製の壁が炭化し、低温着火を生じ火災に至ったものと推定。	火災	なし	北海道	調査の結果、 ○当該製品はマントルピースの中で、かつ、背面の木製壁に近い状態で設置されていたこと ○壁には、異常燃焼を繰り返し生じていたと考えられる炭化部分があったこと、 ○事故の2週間前に使用者が自ら分解して不完全な修理をおこなっていたこと、から、 ●異常燃焼が常態的に生じ、木製の壁が炭化し、低温着火を生じ火災に至ったものと推定。	(株)コロナ	UH-F65AKV3	製造から10年以上経過した製品
B1K0900062	2009/01/12	2010/11/5	石油ストーブ (開放式)	給油のため消火ボタンで消火操作後、給油タンクを取り出す際に炎が発生し、床及びカーペットが焼損した。給油タンクの口金を十分締めていない状態でタンクを抜いた際に口金が外れて灯油が当該製品にかかり火災に至ったものと推定。	火災	なし	千葉県	調査の結果、 ○当該製品の給油タンクの口金は外れた状態であったことから ●給油タンクの口金を十分締めていない状態でタンクを抜いた際に口金が外れて灯油が当該製品にかかり火災に至ったものと推定。	(株)コロナ	SX-286	
B1K0900061	2009/01/26	2010/11/5	石油ストーブ (開放式)	火災が発生し、1名が死亡した。	家屋焼損	1名死亡	千葉県	調査の結果、 ○当該製品の内部よりも外部の煤付着が多いこと、 ○燃焼筒の内炎筒底部のみに煤付着が認められることから通常の燃焼状態であり、当該製品からの出火と認められる痕跡はなかったことから、 ●当該製品からの出火ではなく外部からの延焼により焼損したものと推定。	(株)トヨトミ	RS-L21(B)	
B1K0900060	2009/01/24	2010/11/5	石油給湯機	農機具小屋に設置していたボイラー(手洗い用に使用)から出火。燃料タンク内の錆や水の流入でノズルの噴霧状態が非常に悪くなっていた事、わずみによる燃焼安全装置の不作動があった事などの複合原因と推定。	ボイラー付近に置いていた材木や柱が一部焼損。	なし	兵庫県	調査の結果、 ○当該製品が長期間(20年以上)使用で燃料タンク内部は多量の錆等で汚れがひどく、ノズル内部にも錆が認められる状況であったこと、 ○燃焼室炉材、バーナー口、排気筒接続口パッキンに油が浸込んでいたこと ○相当以前から警報装置をリセットしながら使用していたことから、 ●着火不良となったままリセットを繰り返して使用を続けたため、燃焼室底部に未燃灯油が溜まり、着火時に未燃灯油に引火してバーナー口パッキンから外部へ延焼し火災に至ったものと推定。	(株)長府製作所	IB-34	製造から20年以上経過した製品
B1K0900059	2009/01/09	2010/11/5	石油ストーブ (開放式)	当該製品及び周囲を焼損する火災が発生した。当該製品の置台上に燃えたライターや、紙類の残渣物があることから、ライターのガス漏れによる着火、延焼が推定された。	器具と周辺の一部焼損	なし	愛知県	調査の結果、 ○消火後1時間半してから火災であること、 ○消火後にカートリッジタンクが抜かれていたこと、 ○燃焼筒には異常燃焼や灯油漏れの痕跡は認められなかったこと ○本体の底面に多量の煤の付着があったこと、本体の外郭の右側のみ燃焼していること ○ガスライター(3個)、紙の燃えかすが残っているなど置き台で炎が発生した痕跡があること、等から ●何らかの要因で置き台上で炎が発生し、置き台にあった紙等へ引火して火災に至ったものと判断した。なお、置き台上にあったガスライターから出火した可能性はあるが、ライターの焼損	シャープ(株)	HSR-240	

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会の調査結果	事業社名	機種・型式	備考
					物的被害	人的被害					
B1K0900058	2009/07/05	2010/06/18	石油給湯機(屋外式)	当該製品から異音が生じたため確認すると、排気筒から発煙していた。	機器焼損	なし	岡山県	調査の結果、使用者は、長期間(11年)の使用により当該製品がたびたび不着火となる故障状態で、異常を警告するランプが点滅していたが、リセットを繰り返しながら使用を続けていた。そのため、燃焼筒内部に未燃灯油が溜まり、バーナーの炎が引火したものと判断した。不着火の原因は、長期使用による電磁ポンプの送油量低下及び点火電極の摩耗と考えられる。	(株)長州産業	JX-371DG	製造から10年以上経過した製品
B1K0900057	2009/07/01	2010/06/18	石油ストーブ(密閉式)	火災が発生し、現場に当該製品があった	火災		北海道	調査の結果、当該製品は当時運転状態であり、当該製品本体上部の焼損が激しく、可燃物の燃えた後が確認された。当該製品上部や周辺の可燃物に引火したものと判断した。	(株)コロナ	FF-65AIL	製造から15年以上経過した製品
B1K0900056	2009/05/29	2010/06/18	石油ファンヒーター	当該製品を使用していたところ、異臭が生じ、当該製品が焼損した。	火災		福島県	調査の結果、使用者は長期間(約20年間)使用していた当該製品が使用中にたびたび止まり、異臭がするなど故障状態であることを認識しながら、使用し続けていたため、事故に至ったものと判断した。故障の原因は、長年の使用によるものと考えられるが、当該製品の内部の焼損が著しく、特定されなかった。	(株)コロナ	FH-554DXR	
B1K0900055	2009/04/16	2010/06/18	石油ふろがま(薪兼用)	当該製品を使用していたところ、当該製品付近から出火する火災が発生した。焚き口が朽ちて広がっており、代替のふたを使っていたが塞ぎきれず、ここからこぼれ落ちた火種が、送油管接続部から漏れていた灯油に引火したものと判断した。	機器焼損、機器を設置した小屋の天井(波板)が変形	なし	福岡県	調査の結果、当該製品は、使用者により修理がなされており、焚き口のふたの補修が不完全だったため、こぼれ落ちた火種が、不十分な修理のため送油管接続部から漏れていた灯油に引火したものと判断した。	(株)長府製作所	CH2S	製造から15年以上経過した製品
B1K0900054	2009/04/25	2010/06/18	石油ふろがま	タイマーをセットし、追い焚きしていたところ、火災が発生した。使用者が修理をして、通風調節部が不適切に密閉され、煙突も風の影響を受けやすい状態であった。そのため風が煙突を逆流し、炎を逆流させ、テープを巻いて補修していたゴム製送油管から漏れていた灯油に引火したものと判断した。	器具焼損	なし	山口県	調査の結果、長期間(27年以上)使用している当該製品を使用者がたびたび修理をしており、通風調節部が不適切に密閉され、煙突も風の影響を受けやすい状態であった。そのため風が煙突を逆流し、炎を逆流させ、テープを巻いて補修していたゴム製送油管から漏れていた灯油に引火したものと判断した。	(株)長府製作所	CK-5	製造から25年以上経過した製品
B1K0900053	2009/04/23	2010/06/18	石油ストーブ(開放式)	屋外で当該製品を使用していたところ、当該製品の背面から出火する火災が発生した	火災		千葉県	調査の結果、当該製品に残っていた灯油を使い切るために屋外で燃焼させており、その際に供気が不足し、風の影響も受けて炎が下方に向かって吹き返し、置き台上に入れられていた紙と埃に引火したものと判断した。	(株)コロナ	RX-D22	
B1K0900052	2009/04/21	2010/06/18	石油ふろがま(薪兼用)	当該製品付近より出火した。燃焼室内側より外側の熱変色が大きく、残存配線類やその他焼損部に発火の痕跡は認められなかった。また、前日から出火時にかけて当該製品は使用されておらず、外部から焼損したものと判断した。	家屋全焼	なし	和歌山県	調査の結果、当該製品は燃焼室内側より外側の熱変色が大きく、残存配線類やその他焼損部に発火の痕跡は認められなかった。また、出火時に当該製品は使用されておらず、外部から焼損したものと判断した。	(株)長府製作所	H2S	なし
B1K0900051	2009/03/01	2010/06/18	石油給湯機(屋外式)	1週間ほど前から黒煙が出ていた。当日、午後9時ごろ使用中に途中から水になった。午後11時半頃、窓の外に炎が見えた。燃焼不良等で炉内に溜まった灯油に引火し、その炎が、長年の使用で亀裂が生じた送油管から漏れていた灯油に引火し、焼損が拡大したと判断する。	機器焼損、側面の壁約1m2を焼損	なし	福岡県	調査の結果、使用者は、当該製品が長年(19年間)の使用で燃焼筒に煤が詰まり、異常燃焼により使用中に黒煙が出て、お湯が出ないことがあることを知りつつ、使用を続けていた。そのため、燃焼不良等で溜まった灯油に引火したものと判断した。その炎が、長年の使用で亀裂が生じた送油管から漏れていた灯油に引火し、焼損が拡大した。	(株)長府製作所	IB-36R	製造から15年以上経過した製品
B1K0900050	2009/02/24	2010/06/18	石油ストーブ(開放式)	当該製品を消火後外出したところ、火災が発生した。	火災		兵庫県	調査の結果、使用者が当該製品の燃焼筒のしんを交換した際に適切に取り付けていなかったため、消火操作をしたが、しんがきちんと下がらず燃焼が継続し、異常燃焼を起こしたものと判断した。	(株)コロナ	SX-B27WY	

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会の調査結果	事業社名	機種・型式	備考
					物的被害	人的被害					
B1K0900049	2009/02/23	2010/06/18	石油ストーブ(開放式)	当該製品を使用中に、発煙した。	器具焼損	なし	福岡県	調査の結果、当該製品に着火するために使用されたマッチの火が十分に消されないまま本体内部に落下し、内部に堆積していたほこりに引火し、火災に至ったものと判断した。なお、取扱説明書に、マッチの燃えかすを器具内に落としたり、置台に置くことと火災の危険がある旨の注意記載がなされていた。	松下住設機器(株)(現パナソニック(株))	OS-22CD	
B1K0900048	2009/01/24	2010/06/18	石油ストーブ(開放式)	当該製品から火する火災が発生し、住宅が全焼した。燃焼している当該製品を持ち出す際に1名が火傷を負った。	住宅全焼	火傷	鹿児島県	調査の結果、当該製品の燃焼筒を持ち上げ点火した後、燃焼筒を適切に据え付けなかったため、異常燃焼となり、消火のため持ち出そうとしたが、落としてしまい、周囲の可燃物に引火したものと判断した。	(株)コロナ	OVH-F26 (日立ブランド)	
B1K0900047	2009/01/23	2010/06/18	石油ストーブ(開放式)	当該機器が火元と思われる火災が発生した。当該機器を燃焼状態のまま給油しようとして給油タンクを機器にセットしようとした際、給油タンクの蓋が開き、当該機器に灯油が掛かって出火した。	火災	なし	兵庫県	調査の結果、当該製品を使用中に消火せずに給油タンクを取り出して給油し、タンクをストーブに戻そうとした際に、ふたを確実に閉めていなかったため、灯油がこぼれて燃焼筒にかかり、火災に至ったものと判断した。なお、当該タンクは、ワンタッチ式の給油口であるが、改善されたもので、不完全な半ロック状態になるものではなかった。	(株)コロナ	SX-E271WY	
A2K0900046	2009/12/10	2010/03/23	石油給湯機(屋外式)	給湯機の排気口から煙と炎が出て近隣の方が消火した。器具内部が焼損した。	機器内部一部焼損	無	富山県				リコール品 (2002/10/24)
B1K0900045	2009/01/15	2010/03/17	石油ファンヒーター	当該製品から炎が上がり、製品を持ち出す際に1名が両手に軽い火傷を負った。	器具焼損	軽傷1名(火傷)	愛知県	調査の結果、当該製品に誤ってガソリンを給油したため、異常燃焼を起こし、火災に至ったものと判断した。	(株)日立ホームテック(現日立アプライアンス(株))	OVF-TL32	調査の結果、当該製品に誤ってガソリンを給油したため、異常燃焼を起こし、火災に至ったものと判断した。
B1K0900044	2009/02/25	2010/03/16	石油ファンヒーター	当該製品を運転してしばらくすると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、1名が軽傷を負った。	火災	軽傷1名	北海道	調査の結果、当該製品内部の部品類に発火の痕跡は認められず、固定タンクなどの発火源となり得る箇所は焼損していないことから、外部から焼損したものと判断した。	(株)コロナ	FH-M255Y	
B1K0900043	2009/03/02	2010/03/16	石油ストーブ(開放式)	当該製品を使用中に火災が発生した。ストーブが倒れた際に付近に干していた洗濯物に引火した可能性がある。	火災	無	新潟県	調査の結果、当該製品を使用中に誤ってぶつかり、前倒しとなったところにあった洗濯物等の可燃物に着火したものと判断した。	(株)コロナ	RS-210	当該製品を使用中に火災が発生した。ストーブが倒れた際に付近に干していた洗濯物に引火した可能性がある。
B1K0900042	2009/01/27	2010/03/16	石油ストーブ(開放式)	火災が発生し、1名が軽傷を負った。事故現場に当該製品があった。	火災	軽傷1名	愛知県	調査の結果、当該製品に異常燃焼や灯油漏れの痕跡はなく、不具合は認められなかった。	(株)コロナ	SX-1820	
B1K0900041	2009/02/06	2010/03/16	石油ファンヒーター	当該製品を使用したまま外出して戻ってくると、当該機器と周辺が焼損して、自然鎮火していた。3日後に通報された。	火災	無	福井県	調査の結果、当該製品に異常燃焼や発火の痕跡は認められなかった。	(株)コロナ	GT-A30Y	調査の結果、当該製品に異常燃焼や発火の痕跡は認められなかった。
B1K0900040	2009/01/03	2010/03/16	石油ストーブ(開放式)	火災が発生し、1名が死亡した。現場に当該製品があった。	火災	死亡1名	長崎県	調査の結果、当該製品の消火をせずに給油を行い、給油タンクを戻そうとした際に、きちんと締められていなかったタンクのねじ式口金が外れ、灯油がこぼれ製品にかかり、火災に至ったものと判断した。	(株)コロナ	SX-2	調査の結果、当該製品の消火をせずに給油を行い、給油タンクを戻そうとした際に、きちんと締められていなかったタンクのねじ式口金が外れ、灯油がこぼれ製品にかかり、火災に至ったものと判断した。

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会の調査結果	事業社名	機種・型式	備考
					物的被害	人的被害					
B1K0900039	2009/01/15	2010/03/16	石油ストーブ(開放式)	当該製品に点火後、しばらくすると異常燃焼し周辺が焼損した。	火災	無	香川県	調査の結果、燃焼筒が傾いた状態で当該製品が使用されていたため、異常燃焼を起こし、火災に至ったものと判断した。	(株)コロナ	SX-3020	調査の結果、燃焼筒が傾いた状態で当該製品が使用されていたため、異常燃焼を起こし、火災に至ったものと判断した。
B1K0900038	2009/01/09	2010/03/16	石油給湯機(FE式)	火災が発生し、1名が死亡した。出火元周辺に当該製品があった。	火災	死亡1名	福島県	調査の結果、当該製品に異常燃焼の痕跡や出火に繋がるような異常は認められなかった。排気筒が上下にずれており、生じた隙間より排出された熱や火の粉が、周囲の可燃物に引火したものと判断した。	(株)コロナ	UIB-3800X	調査の結果、当該製品に異常燃焼の痕跡や出火に繋がるような異常は認められなかった。排気筒が上下にずれており、生じた隙間より排出された熱や火の粉が、周囲の可燃物に引火したものと判断した。
B1K0900037	2009/03/06	2010/02/12	石油ファンヒーター	当該製品背面から出火する火災が発生した。	機器一部焼損 部屋の壁が煤けた	無	山梨県	調査の結果、当該製品に異常は認められず、誤ってガソリンを給油したため、異常燃焼を起こし、火災に至ったものと判断した。	ダイニチ工業(株)	FI-302KY	
B1K0900036	2009/02/19	2010/02/12	石油ファンヒーター	当該製品のタンクを持ち上げたところ、キャップが外れ、火災が発生し、1名が指に火傷を負った。	家屋半焼	軽傷1名	神奈川県	調査の結果、当該製品のタンクの口及びキャップに異常は認められなかった。消火をせずに給油を行い、キャップをしっかり締めなかったためタンクのねじ式口金が外れ、灯油がこぼれ製品にかかり、火災に至ったものと判断した。	ダイニチ工業(株)	FW-362L	
B1K0900035	2009/02/17	2010/02/12	石油ファンヒーター	当該製品の前面にビニール製の靴を置いていたところ火災が発生した。	家屋半焼	無	静岡県	調査の結果、ヘアスプレーを入れた樹脂製のカバーを当該製品の温風吹出口の前に置いたため、温風でヘアスプレーが加熱され、内圧が上昇して爆発したものと判断した。	ダイニチ工業(株)	FW-252E	
B1K0900034	2009/03/17	2010/02/12	油だき温水ボイラ	美容院が入っているビルの4階にボイラが設置されていて、朝の9:30頃火災が発生した。	機器焼損 4階2部屋全焼、 3階階段焼損	無	愛媛県	調査の結果、当該製品はバーナーの電極部及び排気筒が改造されており、改造による着火・燃焼不良等の不具合によりバーナー接続部付近から逆火が生じ、付近の可燃物に引火したものと判断した。	(株)長府製作所	SBG-301W	製造から30年以上経過した製品
B1K0900033	2009/02/13	2010/02/12	石油ふろがま	午前0時30分頃異臭がして空焚きに気づき、浴室スイッチの操作でバーナーを停止し、ふろがまに水をかけた。前日午後8時10分頃にスイッチを切った後は入れていないとのこと。	機器焼損 浴槽循環口変色、 循環パイプ焼損	無	群馬県	調査の結果、浴室スイッチ内部の樹脂部品の割れを応急的に修理した状態で使用し続けたため、スイッチがきちんと操作できない状態となり、運転が停止されず燃焼が続き、空焚きとなったものと判断した。当該機種には、空焚き防止装置は付いていなかった。	(株)長府製作所	JPS	製造から25年以上経過した製品
B1K0900032	2009/04/30	2010/02/02	石油ストーブ	老女性の一人暮らし、4月29日空になった灯油タンクを満タンに給油し、夜1時間程使用。翌30日8時30分頃点火し、1時間30分程した頃「フツツ」と異音がストーブからする為やかんを降ろし、消火するが火が消えず、灯油タンクを抜こうとするが抜けない為、隣家へ助けを求めに行っている内に火災となる。	有	無	岡山県	調査の結果、当該製品にガソリンを誤給油して使用したために異常燃焼したものと判断した。	(株)トヨミ	RC-309S	
B1K0900031	2009/03/15	2010/02/02	石油ストーブ(開放式)	当日朝10分～15分程使用後消火、仕事から帰り夜10時頃着火して、台所で夕飯の支度をしているときにストーブから130cmほど火が立ち上がっているのを見つけ水をかけて消火した。点火してから数分しかたっていなかった。	有	無	長崎県	調査の結果、当該製品は置き台が変形し吸気しにくくなっている上に埃が溜まって空気不足の状態で使用されていた。加えて、点火時に燃焼筒が適切に据え付けていなかったために異常燃焼を起こし、火災に至ったものと判断した。なお、取扱説明書に置き台等の埃は時々除去する。埃が詰まると異常燃焼や火災の原因となる。燃焼筒を正しくセットする旨、記載されている。	(株)トヨミ	RS-L21	

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故  
 ※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの  
 ※3 B2:「B1」以外の事故

管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会の調査結果	事業社名	機種・型式	備考
					物的被害	人的被害					
B1K0900030	2009/04/03	2010/01/28	油だき温水ボイラ(屋外式)	家人が留守中に出火し、消防に火災の通報が有り出動した。家屋は半焼した。	家屋半焼	無	福岡県	調査の結果、事故当時に当該製品の電源は切られており、異常燃焼や燃料漏れの痕跡は認められなかった。外殻ケース及び内部断熱材とも上部左側の焼損が著しく、製品内部よりも外側の焼損が著しいことから、外部から焼損したものと判断した。	(株)ノーリツ	OH-1200DY	B1K0900029とB1K0900030は同一事故
B1K0900029	2009/04/03	2010/01/28	石油給湯機付ふろがま(屋外式)	家人が留守中に出火し、消防に火災の通報が有り出動した。家屋は半焼した。	家屋半焼	無	福岡県	調査の結果、事故当時に当該製品の電源は切られており、異常燃焼や燃料漏れの痕跡は認められなかった。外殻ケース及び内部断熱材とも上部左側の焼損が著しく、製品内部よりも外側の焼損が著しいことから、外部から焼損したものと判断した。	(株)ノーリツ	OTQ-415AYS	B1K0900029とB1K0900030は同一事故
A2K0900028	2009/11/29	2010/01/20	石油給湯機付ふろがま(屋内設置型:FE式)	使用中、家のブレーカーが作動、機器より煙がでた。	機器内部一部焼損	無	岩手県		(株)ノーリツ	OTQ-303F	リコール品(2002/10/24)
A2K0900027	2009/11/19	2010/01/13	石油給湯機(屋外式)	使用中、家のブレーカーが作動、機器より煙がでた。	機器内部一部焼損	無	富山県				リコール品(2002/10/24)
B1K0900026	2009/02/02	2010/01/08	石油ファンヒーター	当該機器の運転を開始して部屋を離れ、しばらくして戻ってみると、壁に掛けていたコルクボードの紐が焼けて落下し、絨毯の上で焼損していた。	無	無	愛知県	調査の結果、当該製品に異常はなく、当該製品と焼損物の間には十分に距離が離れていることから、当該製品が発火源になったものではないと判断された。	三菱電機(株)	KD-FX65D	
A2K0900025	2009/11/19	2010/01/08	石油給湯機(屋外式)	給湯使用中に機器排気口から煙が出た。消火器で消火した。	器具内焼損	無	岩手県		(株)ノーリツ (株)ハウステック	OQB-302YS (HO-350Z)	リコール品(2002/10/24)
B1K0900024	2009/06/02	2009/12/15	石油バーナー	当該製品をかまどに設置して業務用調理に使用していたところ、火災が発生した。風呂の追い炊き用である当該製品(バーナー)を、かまどに設置し、高温の業務用調理に使用したため、当該製品が焼損したものと判断した。	機器焼損	無	高知県	風呂の追い炊き用である当該製品(バーナー)を、かまどに設置し、高温の業務用調理に使用したため、当該製品が焼損したものと判断した。			
A2K0900023	2009/10/20	2009/12/02	石油給湯機(屋外式)	給湯使用中に機器から煙が出てきた。自然消火した。	器具内焼損	無	茨城県		(株)ノーリツ (株)ハウステック	OQB-302YS (HO-350Z)	リコール品(2002/10/24)
A2K0900022	2009/09/01	2009/10/27	石油給湯機付ふろがま(屋内設置型:FF式)	煙突周辺の断熱材がこげた	断熱材がこげた	無	北海道				
A2K0900021	2009/09/09	2009/10/22	石油給湯機(屋外式)	器具内部焼損	器具内焼損	無	福岡県		(株)ノーリツ (株)ハウステック	OQB-405Y (HO-450A)	リコール品(2002/10/24)
A2K0900020	2009/10/03	2009/10/19	石油給湯機付ふろがま	排気口から黒煙と炎が出た	無	無	石川県		(株)ノーリツ	OTQ-405SAY	リコール品(2002/10/24)
A2K0900019	2009/02頃	2009/10/19	石油ファンヒーター	白煙が出たとのことで修理依頼があった。確認の結果、変質灯油が使用されたことによりニードルにタールが付着し、その影響で白煙が生じていた為、部品清掃(タールの除去)等の修理を行った。	無	無	滋賀県				
B2K0900018	2009/08/04	2009/09/18	石油給湯機付ふろがま	電磁ポンプ部からの油漏れ。焼損などは無し	無	無	北海道				
B1K0900017	2009/01/28	2009/08/12	石油ストーブ(開放式)	カートリッジタンクに給油後、口金キャップが外れた状態で本体にセットして、点火操作を行ったため、タンクからこぼれた灯油に引火し、火災に至った。	火災	死亡1名 重傷1名	千葉県	調査の結果、当該製品のカートリッジタンクに給油後、口金キャップが外れた状態のタンクを当該製品本体にセットして、点火操作を行ったため、タンクからこぼれた灯油に引火し、火災に至ったものと判断した。	(株)コロナ	RX-227	
B1K0900016	2009/01/17	2009/08/12	石油ストーブ(開放式)	機器の天板上に繊維等可燃性品が接触し、発火し火災が発生。	火災	死亡1名 軽傷1名	新潟県	調査の結果、当該製品の天板上に繊維等可燃性製品が接触し、発火したものと判断した。	(株)コロナ	SX-C220	
B1K0900015	2009/01/07	2009/08/12	石油ファンヒーター	点火したままカートリッジタンクを抜き、タンクに何らかの力を加えたため油量のぞき窓が破損し、そこから漏れた灯油に引火し火災に至った。	火災	無	山形県	調査の結果、当該製品を使用中に、点火したままカートリッジタンクを抜き、タンクに何らかの力を加えたため油量計(油量のぞき窓)が破損し、そこから漏れた灯油に引火し、火災に至ったものと判断した。	(株)コロナ	GT-3280Y	

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会の調査結果	事業社名	機種・型式	備考
					物的被害	人的被害					
B1K0900014	2009/01/02	2009/08/12	石油ストーブ(開放式)	自動消火装置で着火しようとしたが着火しないため、ロウソクで着火したところ、しばらくすると機器から白煙が上がり、操作部樹脂が焼損した。	火災	無	静岡県	調査の結果、当該製品は操作部の樹脂だけが焼損しており、他の部分には焼損や異常は見られなかった。点火に使用したロウソクの火が操作部に燃え移ったものと判断した。	(株)コロナ	SX-3060	点火に使用したロウソクの火が操作部に燃え移ったものと判断。
A2K0900013	2009/06/23	2009/07/23	石油給湯機(屋外式)	洗顔時に異音が生じ機器が焼損しているのを発見、水道にて消した。	器具内焼損	無	山口県		(株)ノーリツ (株)ハウス テック	OQB-302Y	リコール品 (2002/10/24)
A2K0900012	2009/06/19	2009/07/08	石油給湯機(屋外式)	給湯使用中に排気口から煙が出てきた。確認すると器具内部が焼損していた。	器具内焼損	無	佐賀県		(株)ノーリツ (株)ハウス テック	OQB-302Y (HO-350A)	リコール品 (2002/10/24)
A2K0900011	2009/06/13	2009/07/08	石油給湯機(屋外式)	給湯使用中に器具内部より発火。	器具内焼損	無	岐阜県		(株)ノーリツ (株)ハウス テック	OQB-302Y (HO-350A)	リコール品 (2002/10/24)
B2K0900010	2009/06/11	2009/07/03	石油ファンヒーター	シーズンが終わってファンに付いた埃を雑巾で拭き取るために、ねじを外して製品を分解した。清掃中に左手の親指がプロペラに当たり1cm程度のキズを負う(三針縫う)	無	軽傷1名	三重県				
A2K0900009	2009/05/10	2009/06/19	石油給湯機付ふろがま	パーナ部より油漏れが生じた。焼損等はありません。	無	無	鹿児島県				
A2K0900008	2009/05/21	2009/06/19	石油給湯機(FE式)	火災警報機が作動した。給湯機から黒煙が上がり内部焼損した。	器具内部焼損	無	富山県		(株)ノーリツ (株)ハウス テック	OQB-405F (HO-450H)	リコール品 (2002/10/24)
B1K0900007	2009/02/14	2009/03/19	石油ファンヒーター	ガソリンの誤使用による製品からの出火。	カーテン、クロスが一部焼損	無	奈良県				
A2K0900006	2009/02/18	2009/03/02	石油給湯機(FE式)	当該機器を使用中にボイラー室から音が聞こえたため、機器を確認すると焼損していた。	器具焼損	無	石川県				リコール品 (2002/10/24)
A2K0900005	2009/02/02	2009/02/26	石油ファンヒーター	運転中の石油ファンヒーターから発火した為、水をかけて消火した。	器具の一部焼損	無	静岡県				
A2K0900004	2009/01/29	2009/02/09	石油給湯機(屋外式)	屋外で大きな音がしたので家人が給湯機を確認したところボイラーから水漏れしていた。カバーを外すと内部部品が焼損していた。	器具内部焼損	無	富山県				リコール品 (2002/10/24)
A2K0900003	2009/01/28	2009/02/09	石油給湯機(屋外式)	運転スイッチを入れて数分後に「ボン」と音が聞こえたため、当該機器を確認すると焼損していた。	製品被害有	無	新潟県				リコール品 (2002/10/24)
B2K0900002	2009/01/18	2009/02/02	石油ファンヒーター	「運転状態で給油、タンクをセットしたら発火したため、消火器で消した。」とユーザーより連絡があった。製品を確認したが異常はなく、発火の痕跡もない。確認状況より製品外部の可燃性液体・可燃物による発火・引火と推定する。	畳1枚焦げ、他に2枚汚れ計3枚とカーペットを汚した	無	神奈川県				
B1K0900001	2009/01/10	2009/01/23	石油ふろがま	浴槽に水を入れないままスイッチを入れてしまい、製品から出火した。	製品及び壁1.6㎡焼損	無	福岡県				

・過去4年間の経済産業省 製品事故判定第三者委員会の調査結果等を反映した。また、これに合わせ重複データのチェックを行った(10.11.05)